

# 第4回総合振興計画審議会 意見対応について

- ・健康福祉分野
- ・市民生活分野
- ・政策連携プラン

第4回 総合振興計画審議会意見対応 (1. 健康福祉分野)

No.	政策大綱	大項目	項目名	発言者	内容	当日の回答	対応
1	1. 健康福祉分野	1. 子ども・子育て支援	①成果指標/現状 ②中項目4 子育てと仕事の両立支援	杉原委員	①市民の声に、放課後児童クラブの充実を求める声がある。指標の「子育て支援センター延べ利用組数」は「問題なし」となっているが、これで良いのか。 ②三つ目●に「保護者に給付を行い、児童の健全育成と…」とあるが、保護者へ現金給付を行うということで良いか。	①放課後児童クラブは一時的に定員をオーバーしますが、恒常的なオーバーとはなっていません。また、子育て支援センターは、放課後児童クラブとは別のものです。 ②現金を給付するということではありません。	①※追記、変更なし ②以下の通り、修正します。 ●保育所、認定こども園及び地域型保育施設における保育の実施を推進し、児童の健全育成と保護者の子育てと仕事の両立を支援します。 ●放課後児童クラブの待機児童を作らない取組を推進し、保護者の子育てと仕事の両立を支援します。 ●低年齢児を保育する小規模な保育施設を利用する保護者に給付を行い、児童の健全育成と保護者の就労支援を図ります。 ●認定こども園等を利用する保護者に給付を行い、児童の健全育成と保護者の就労支援を図ります。
2	1. 健康福祉分野	2. 健康づくりの推進	①協働による取組 ②主な事業一覧10体の健康づくりの推進	杉原委員	①「健幸アンバサダー」とあるが、字は幸福の幸で良いか。後段の食生活推進員は日本語になっており、統一感がないのではないかと。分かりやすい言葉にしたほうが良いのではないかと。 ②「ハイリスクな被保険者や…」とあるが、表現が分かりにくいのではないかと。成人病予備軍の人を指すのか。	①「健幸アンバサダー」は、固有名詞として使っており、この表記としています。 ②「ハイリスクな被保険者や…」は、より良い表現に見直したいと思います。	①用語解説に加えます。 ②「ハイリスクな被保険者や…」は、血圧等の数値に異常値がある方等を意図しておりましたが、以下の通り、修正します。 ○国民健康保険被保険者のレセプトや特定健診等のデータを活用し、 <b>高血圧に該当する未受診者等や糖尿病が重症化するリスクが高い被保険者に対し保健事業を行います。</b>
3	1. 健康福祉分野	4. 地域福祉の推進	関連計画	杉原委員	「高齢者福祉の増進」という表現は、これで良いか。「高齢者福祉の充実」の方が分かりやすいのではないかと。	「高齢者の福祉の増進」については、高齢者福祉計画を作る中で、この表現としたものです。より分かりやすい表現は、検討したいと思います。	※追記、変更なし 本計画の概要を記載する欄として、計画で記載している文言を引用しております（「法的位置付け（P2）」）。今後の表現については、次期計画の策定での検討も含め、検討します。
4	1. 健康福祉分野	1. 子ども・子育て支援	現況と課題	芦澤委員	三つ目●に「子ども家庭総合支援拠点」とあるが、民生委員という言葉が入っていない。民生委員は関わりがあると思うが、民生委員を入れない理由は何か。「等」に含まれるのか。	子どもを見守るためには地域の皆さまの協力は欠かせないと考えています。民生委員の皆さまにも協力をいただいている部分ですので、記載を検討したいと思います。	以下の通り、修正します。 ●（略）本市では、子ども家庭総合支援拠点を中心に、児童相談所や警察署及び関係機関と連携しながら、子どもや保護者に寄り添った支援に努めており、今後も子どもの適切な保護、児童虐待の防止を図ることが重要です。加えて、各種手当の支給や助成を通じ、引き続き経済的負担の軽減を図ることが求められます。
5	1. 健康福祉分野	4. 地域福祉の推進	現況と課題	芦澤委員	二つ目●に「重層的支援体制整備」とあるが、これには三つの柱があるはずである。相談支援として、支援体制を作るという中で、「協力・アウトリーチ」という表現があると思うが、この「アウトリーチ」という表現が本計画内にはなかった。入れたほうが良いのではないかと。	相談支援の中に、アウトリーチを含め、三つの柱になっているため、ここでは表現として入れませんでした。検討したいと思います。	※追記、変更なし ここでは重層的支援体制整備事業について、新たな取り組みとして事業全体を指して記載しているため、個々の支援については記載いたしませんでした。 「相談支援」、「参加支援」、「地域づくりに向けた支援」それぞれの事業については今後の地域福祉の計画や事業の実施の中で検討してまいります。

第4回 総合振興計画審議会意見対応 (1. 健康福祉分野)

No.	政策大綱	大項目	項目名	発言者	内容	当日の回答	対応
6	1. 健康福祉分野	3. 医療体制の充実	①現況と課題 ②主な事業一覧7 医療費適正化の推進	明堂委員	①初期救急について、内科系の診察は週に一日しかなく、それにより二次救急に無理がいつているということか。その体制整備が必要ではないか。また、市民の声では「大学病院の誘致」などがあるが、採算性を考えれば、それは難しい状況。県境を越えた体制整備について、連携協定を充実させる方が合理的ではないか。 ②「国民健康保険加入者の資格の適正化」とあるが、どのような資格違反があるのか。	①初期救急について、休日年末年始の昼間等では、現在の体制で整っていると考えており、この表記としています。見直しを含め、検討します。また、二次救急については搬送時間が重要だと考えています。他県への取組等、充実させる形で検討したいと思います。 ②国民健康保険の適正化については、社会保険等への速やかな移行を行ってほしいということから、このような表記としています。	①以下の通り、修正します。なお、「連携協定の充実」も以下に記載の「他の方策」に含まれると考えます。 ●(略) 一方、輪番病院には、夜間に体調を崩したときなどに受診する患者も多く、本来の二次救急病院としての機能が果たされにくい状況があることから、初期救急医療体制の充実を図ることが必要です。 ●(略) 高度な医療をはじめ地域医療の充実に向け、北部保健医療圏の充実を県に要望するとともに、県境を越えた体制整備についても県への働きかけを行い、また、他の方策についても研究していきます。 ②※追記、変更なし
7	1. 健康福祉分野	1. 子ども・子育て支援	①②成果指標/現状 ③現況と課題 ④中項目1 子育て支援サービスの充実 ⑤中項目4 子育てと仕事の両立支援 ⑥中項目6 児童虐待防止対策の充実 ⑦協働による取組 ⑧主な事業一覧11 要保護児童対策地域協議会の運営	内田委員	①「児童虐待相談新規受付件数」が指標となっているが、適切か。 ②「保育所等における待機児童数」が指標となっているが、やむを得ず遠くの保育所に入所するケースもあるはずであると思うが、どうか。 ③二つ目●に「地域で見守り支えあう支援」とあるが、具体的に何が考えられるか。また、三つ目●に「保護者に寄り添った支援」とある。今までもこのような支援に取り組んでいたと読み取れるが、この書き方で良いか。また、5歳児の虐待事件について庁内で本計画に入れるかどうか検討したか。 ④「子どもの将来が家庭の経済状況によって左右にされないよう支援を行うための調査」について、具体的に何が念頭にあるのか。再度聞きたい。 ⑤「保護者の就労支援」とあるが、仕事をあっせんするように見える。 ⑥「児童虐待は重大な人権問題」とあるが、「命にかかわる」とした方が良いのではないか。また、「訪問支援の充実」とあるが、実際には法律の関係でできなかったと聞いている。どのように訪問支援を充実させるのか。 ⑦「…地域の主体と連携・協力」とあるが、どのように連携するのか。 ⑧「虐待通報」を「虐待通告」にした理由は何か。	①相談件数は少ないほうが良いとは思いますが、指標ではなく現状値を表すものであるため、このままとしたいと思います。 ②実際に入りたいところに入れないのは一つの待機児童だと思いますので、検討したいと思います。 ③民生委員や子どもを預かる施設での見守りという意味も込め、このような表現としています。5歳児虐待事件を受けた検討については、特に内部ではありませんでしたが、これを受けた標記について検討したいと思います。 ④調査は、なるべく実態が分かる形での実施を検討したいと思いますと考えています。 ⑤検討します。 ⑥表現は検討します。また、積極的な訪問支援を実施していきたいと考えています。 ⑦確認します。 ⑧確認します。	①※追記、変更なし ②開所時間に差がないことや登園するのに無理がないことを要件として、希望する施設以外を紹介した場合でも、特定の施設を希望し、待機している場合は、待機児童になりません。 ③個別案件は、本計画の中に入れず、子ども・子育て支援事業計画の中での表記を検討します。 ④子どもの貧困対策計画(案)の策定に向けたアンケートです。 ⑤「保護者の就労支援」を、以下の通り、修正します。 ●保育所、認定こども園及び地域型保育施設における保育の実施を推進し、児童の健全育成と保護者の子育てと仕事の両立を支援します。 ●放課後児童クラブの待機児童を作らない取組を推進し、保護者の子育てと仕事の両立を支援します。 ⑥以下の通り、修正します。また、「訪問支援の充実」は、令和4年度から実施している支援を要する家庭へアウトリーチによる積極的な支援「支援対象児童等見守り強化事業」を充実強化していきたいと考えています。 ●児童虐待は生命又は身体に危害を及ぼすおそれのある人権問題という認識の下、要支援児童の適切な保護を図るため、関係機関と情報の交換・共有を行い、児童虐待の早期発見・対応を行います。 ⑦虐待の恐れがある家庭を含め、支援が必要な家庭へのアプローチは、市だけでは、対応が困難であり、地域の中で見守れる身近な相談相手とし、民生委員・児童委員の協力を得ていきたいと考えています。 ⑧児童虐待の防止等に関する法律第6条児童虐待に係る通告及び児童福祉法第25条の規定の文言に合わせました。

第4回 総合振興計画審議会意見対応 (1. 健康福祉分野)

No.	政策大綱	大項目	項目名	発言者	内容	当日の回答	対応
8	1. 健康福祉分野	2. 健康づくりの推進	①現況と課題 ②成果指標/現状 ③協働による取組 ④中項目6 心の健康づくりの推進	内田委員	①二つ目●の「はにぼんチャレンジ」について、後段の動機付けや情報提供の充実がどういったものか読み取れない。 ②自殺問題については指標がないが、何で測っていくのか。 ③健幸アンバサダーは注釈が必要ではないか。 ④「総合的な自殺対策」とは、どういうものか。	①確認します。 ②自殺の指標については、個別に計画策定を行っていますので、適切な指標を探したいと思います。 ③注釈表記します。 ④偏った対策ではなく、あらゆる方面から検討したいという意味で、このような表現としています。	①「動機付けや情報提供」については、自身の健康についての意識を高めるための動機付けや、その健康づくりの重要性についての普及啓発を図るための情報提供を意図しています。 ②※追記、変更なし ③用語解説に追加します。 ④※追記、変更なし
9	1. 健康福祉分野	5. 高齢者福祉の充実	①中項目2 介護・福祉のサービスの連携と充実 ②中項目3 社会参加・生きがいづくりの促進	内田委員	①「地域包括ケアシステムの深化」とは何か。 ②「高齢者サロン等の参加支援」とはどのようなものか。高齢者を迎えに行くということか。補助金を出すのは活動支援であって、参加支援ではない。	①各地域ごとに地域包括支援センターができましたが、それをより充実させるという意図でこのような表現としましたが、訂正します。 ②高齢者サロンの団体に対し補助金による支援を行うため、このような表現としています。表現は、検討したいと思います。	①2018年度の介護保険制度改正の際に、それまでの「地域包括ケアシステムの構築」から「地域包括ケアシステムの深化」という表現が用いられ、その後一般的となっていますので、現在の表記のままとします。この改正は、高齢者の自立支援と要介護状態の重度化防止、地域共生社会の実現を図るとともに、制度の持続可能性を確保することに配慮し、サービスを必要とする方に必要なサービスが提供されるようにすることを目的として行われました。 ②以下の通り、修正します。なお、「参加支援」とは、孤立、孤独や引きこもり等課題を抱えた高齢者とそれに適したサロンをつなげる（マッチングさせる）事業を想定しています。サロン活動に対する費用的な支援やサロンへの参加のための送迎など具体的な事業を指すものではありませんでしたが、理解しやすい言葉で記載することといたしました。 ●老人クラブ、高齢者サロン等の参加につなげる支援や、活動支援、や生涯学習の充実を図ることで高齢者の生きがいを増進します。
10	1. 健康福祉分野	6. 障害者福祉の推進	①現況と課題 ②協働による取組 ③障害者権利擁護の推進	内田委員	①三つ目●に「本市は特に、…」とあるが、必要な表現か。また、「惜しめない力添えをした人々にも深く思いを寄せつつ」とあるが、どこに活かされているのか。 ②「ふれ愛祭」の記載があるが、コロナ禍で今後どのようにしていくのか。 ③「虐待・差別事象」と「虐待・差別事案」の違いは何か。	①ここでは文言の整理をしましたが、前期基本計画の内容を踏襲しています。上段の表現を受けて「特に」としているため、より目立つ形となっています。修正を含め検討したいと思います。 ②ふれ愛祭は、実施の方向で検討しています。 ③「事案」は、事件性を含めてということで文言の整理をしました。	①以下の通り、修正します。なお、「惜しめない力添えをした人々にも思いを寄せつつ」は、皆で協働で共生社会を作り上げるための全ての施策に活かされていると考えています。 ●本市は特に、視覚に障害を抱えながらも「群書類従」の編纂という偉業を成し遂げた塙保己一の生誕の地として、 <del>です。</del> その偉業に関わり、惜しめない力添えをした人々にも深く思いを寄せつつ、ノーマライゼーションを推進する必要があります。 ②③※追記、変更なし
11	1. 健康福祉分野	1. 子ども・子育て支援	中項目1 子育て支援サービスの充実	野津委員	子どもの将来は家庭の経済環境だけでなく、保護者の心理のほか、ヤングケアラーの問題もあり、経済環境だけではないはずである。実態把握であれば、そのような他の分野と連携するのか。	一つの部や課では対応しきれないものであり、対応を検討していきたいと考えています。標記の見直しを行います。	実態把握は、子ども貧困対策計画（案）を策定するための調査になります。調査結果に基づき、必要な他分野と連携を図りますが、子ども・子育て支援事業計画策定にかかる調査についても追記します。

第4回 総合振興計画審議会意見対応 (5. 市民生活分野)

No.	政策大綱	大項目	項目名	発言者	内容	当日の回答	対応
1	5. 市民生活分野	1. 市民との協働によるまちづくりの推進	①現況と課題 ②主な事業一覧6 全市一斉清掃、7 児玉ボランティア連絡協議会	鳥羽委員	①市民活動について、自治会ですべてできるということではなく、様々な団体が含まれる。PTAや各団体など、具体的に記載されるとモチベーションが上がるのではないかと。 ②全市一斉清掃については市の取組の一部と考える。参加者の保険料は別に払っているが、市の保険が適用されると良いのではないかと。 また、児玉地域ボランティア連絡協議会とはどんなものか。	①具体的な名前を入れることも検討しましたが、ここでは代表的なものに絞って記載しています。 ②全市一斉清掃については確認します。 また、児玉地域ボランティア協議会は、児玉郡市内の社会福祉協議会やボランティア団体などで構成され、お互いの情報共有や交流会を行っているものです。	①すべてのボランティア団体(87団体・個人147人)、NPO法人(43団体)の団体等を個別・具体的に記述することは難しいため、主な団体・組織を記載しています。 ②全市一斉清掃は、本庄市コミュニティ協議会の主催事業ですので、市で加入している「全国市長会 市民総合賠償補償保険」は適用とはなりません。なお、市では、本庄市コミュニティ協議会に対し、全市一斉清掃にかかる経費を含め、事業費補助金を交付しています。 また、児玉地域ボランティア連絡協議会とは、児玉地域におけるボランティア活動の促進に寄与することを目的に設立された団体です。協議会の趣旨に賛同する児玉地域のボランティア団体またはそれに準ずる団体、市町社会福祉協議会、市町及び埼玉県北部地域振興センター本庄事務所で構成され、現在22団体が加入しています。
2	5. 市民生活分野	3. 危機管理体制の強化	中項目6 避難行動要支援者対策の推進	鳥羽委員	避難行動要支援者について、先日、地域福祉課から名簿が配布されたが、多くの登録申請があると聞いている。不安だから登録する、というものではないと思っている。事務局含め認識してほしい。また、避難行動要支援計画書が義務化されたが、それをどのように完成させていくか。	担当課と意見交換したいと思います。避難行動要支援計画書の義務化について入れるかは検討したいと思います。	災害対策基本法の令和3年5月の改定により、「個別避難計画」の策定は市町村の努力義務とされました。現在は避難行動要支援者に関する名簿をもとに、地域において自治会や民生委員などの地域の避難支援等関係者の方々にご協力をいただきながら、平常時の見守りや交流の中から必要な支援に結び付け、地域の特性に応じた支援体制を構築してまいりたいと考えております。
3	5. 市民生活分野	3. 危機管理体制の強化	中項目6 避難行動要支援者対策の推進	芦澤委員	避難行動要支援者について、民生委員にとっては切実な問題。担当課より名簿が配られたが、24名受け持っている。支援者の記載がない方も多くいる。先日の大雨では、確認の電話したが、時間を要した。「支援体制の充実」と記載があるが、何をどのように動いたら良いかと、ぜひ避難行動要支援計画書を作ってほしい。 また、防災訓練にこのようなものが盛り込まれていないので、ぜひ考えてほしい。	避難行動要支援計画書の作成については持ち帰り、担当課と協議したいと思います。 また、防災訓練もこれまでイベント的なものを行っていましたが、自主的な訓練に変える方向にしていたところですが、コロナ禍で中止となりましたが、今年は仁手小学校で防災訓練を行う予定です。今後のために、検討も行っていきたいと思っております。児玉地域では、土砂災害も想定されることから、その訓練を予定していましたが、先日の降ひょうで中止となりました。このようなものを通して、意識の高揚を図っていきたいと思っております。	災害対策基本法の令和3年5月の改定により、「個別避難計画」の策定は市町村の努力義務とされました。国の求める個別避難計画の策定には個々の状況を見極める手続きが必要となります。現状としては避難行動要支援者に関する名簿をもとに、地域において、自治会や民生委員などの地域の避難支援等関係者の方々にご協力をいただきながら、平常時の見守りや交流の中から必要な支援に結び付け、地域の特性に応じた支援体制を構築してまいりたいと考えております。
4	5. 市民生活分野	2. 人権を尊重する社会の実現	中項目3 男女共同参画の推進	明堂委員	「誰もが性別にかかわらず…」とあるが、具体的にはどのようなことをするのか。本審議会でも女性委員が少ない。もっと意識的に女性を入れないと増えない。役所がやらないで、どこがやるのか。啓発をどう図るか聞きたい。	市でも、審議会で女性委員登用を30%とお願いしているが、なかなか達成できていない状況です。各団体への依頼文には、女性登用の一文を入れています。	「誰もが性別にかかわらず」とは、LGBTQを念頭においた表現ですが、「男は仕事、女は家庭」という固定的な性別役割分担意識について、県の調査でも根強く残っていることがうかがえますので、地道な活動ではありますが継続的に研修会等で啓発していく必要があると考えております。 審議会委員等の選任につきましても、男女の比率で少ない方が3割を下回らないように努めることとしております。本市では女性委員の割合が現状で2割と少ないことから、性別による意見の偏りの解消を目指し、関係団体に適任の女性の推薦について協力を求め、審議会委員等への女性の登用を促進することとしております。

第4回 総合振興計画審議会意見対応 (5. 市民生活分野)

No.	政策大綱	大項目	項目名	発言者	内容	当日の回答	対応
5	5. 市民生活分野	1. 市民との協働によるまちづくりの推進	現況と課題	野津委員	計画の内容は正しいが、総論となっており、何をしたいのかが分からない。「様々な主体」あるが、具体的にどういう分野での市民協働が必要と考えているか。また、現行計画では「福祉や教育、防犯・防災」と協働の例示があるが、削除されている。どういった主体との連携を考えているか。	今回の見直しで、現況と課題が長くなったため記事を削除しました。記事を検討したいと思います。	特定の分野に限るものではありませんが、以下の通り、修正します。 ●社会経済情勢の変化や、市民のニーズ・ライフスタイルの多様化等を背景に、解決が求められる社会課題も多様かつ複雑になり、行政だけではなく様々な主体が協働していくことが必要となっています。そのため本市では、自治会やボランティア団体、NPO法人等と協働して、 <b>福祉や教育、防犯・防災をはじめとした</b> 地域課題の解決や、地域の特性を活かした事業などに取り組んでいます。
6	5. 市民生活分野	1. 市民との協働によるまちづくりの推進	①現況と課題 ②協働による取組	内田委員	①二つ目●の「取組み」の送り仮名は不要。 ②主体の例示として「大学生」とあるが、どのような想定か。	①修正します。 ②早稲田大学と協働を行っており、それを想定したのですが、早稲田を含めた大学生全般を指しています。	①「取組み」を「取組」に修正します。 ②※追記、変更なし
7	5. 市民生活分野	2. 人権を尊重する社会の実現	①②③現況と課題 ④中項目3 男女共同参画の推進	内田委員	①一つ目●の「同和問題」の記載が削除されたが、理由は何か。依然として存在するのではないか。 同和問題が人権問題に含まれるのであれば、女性なども同様であるはず。大方に解消されたということであれば良いと思うが、どうか。 ②「LGBTQへの無理解」とあるが、偏見はあると思うが、無理解という表現はどうか。LGBTQという言葉は新しいが、このような方は昔からいる。この書き方では、新たに出てきたような印象を受ける。 ③二つ目●には、三つのことが書かれている。前段の表現と、キャリア形成について、分けて書いたほうが良いのではないか。 ④「男女平等に基づく教育」とは具体的に何を指すのか。	①同和問題は、人権問題に含まれると考えたもので、削除したわけではありませんが、再検討します。 ②マスコミ等で最近話題になっていることもあり、このような表現としました。「無理解」という表現については、検討したいと思います。 ③検討します。 ④学校での教育ではなく、公民館でのセミナーなどの社会教育を想定したものです。	①②以下の通り、修正します。 ●女性、子ども、高齢者、障害者、 <b>同和問題</b> 等に関する人権問題は依然として存在し、また、LGBTQ（性的マイノリティ）への <b>無理解差別</b> や偏見により生活上の困難を感じている方もいます。(略) ③最初の句点までが【現況】、3行目の「社会を実現するために、」までが【課題】、それ以降が【解決策】として記述しており、以下の通り、表現を整理します。なお、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）とは、「仕事を抑制し、私生活を大切にすること」と解釈されることがありますが、「生産性を高めつつ男女で効率よく働き、ともに家庭・地域に責任をもつ仕組」ということです。(出典：男女共同参画局 京都大学文学部教授 伊藤公雄) ●固定的な性別役割分担意識は、変化はしているもののいまだ根強く残っており、男女間や世代間による意識の差も大きく、多様な生き方の選択を妨げています。性別にかかわらず、全ての人の人権が尊重され、尊厳を持って個性と能力を発揮しながら個人が生きられる、多様性に富んだ活力ある社会を <b>実現</b> とするために、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現や、 <b>女性のキャリア形成支援、や意識改革</b> などを一体的に行う必要があります。 ④「男女平等に基づく教育」は、「基づく」という表現が分かりづらいため、「男女平等教育」と言い換えます。なお、「男女平等教育」は、学校教育の領域だけではなく、全教育活動において推進されなければならないと考えており、日常の様々な関わりなどにおいても、適切な教育が推進されることによって、真の男女平等の意識と態度を養うことができると考えます。現時点では、成人の方に対して研修会等を行っています。

第4回 総合振興計画審議会意見対応 (5. 市民生活分野)

No.	政策大綱	大項目	項目名	発言者	内容	当日の回答	対応
8	5. 市民生活分野	3. 危機管理体制の強化	①②現況と課題 ③中項目1 防災体制の推進 ④中項目4 消防団活動と地域防災力の向上 ⑤主な事業一覧8 防災設備の推進	内田委員	①一つ目●の「防災意識の高揚」とはだれに対してのものか。また、関連講座とは何か。実施方法の検討とは、何を想定しているか。 ②四つ目●について、分散避難という考えもあるが、市としては、指定の場所に一齐に来てもらうという考えということか。「躊躇なく避難」というのは、特定の場所に集めるという前提か。 ③SNSは市のSNSか。防災用SNSを整備するのか。LINEだけであれば、分かりやすくした方が良いのではないか。 ④消防団について、定年延長は敬遠される要因になり、入団促進につながらないのではないか。 ⑤「環境に配慮した機能をもった避難施設」の表記が消えた理由は何か。	①全国的に災害が多く、市民の皆さまの意識も高まっていることから、このような表現としたものです。表現方法は検討したいと思います。関連講座は、要望も多いため、自治会からの希望あれば、要望に応じて行っていきたく考えています。 ②垂直避難などの考えもあるため、表現は検討したいと思います。 ③LINEによるプッシュ型通知を想定していますが、記載方法は検討したいと思います。 ④検討します。 ⑤確認します。	①以下の通り、修正します。なお、実施方法の検討につきましては、座学などの他に防災備品を実際に見て使ってもらうなど、工夫が可能と考えています。 ●(略) また、市民の防災意識の高揚により防災関連講座の需要が高まっており、ニーズに対応していけるよう実施方法の検討が求められます。 ②以下の通り、修正します。 ●指定避難所内での新型コロナウイルス等の感染症拡大防止のため、衛生環境対策用品やパーテーション等の備蓄資材を整備してきましたが、今後も災害時に感染症の不安無く躊躇なく避難できる環境整備に努めていく必要があります。 ③「市ホームページ・SNS」という表現で統一していることから、修正は行いません。 ④以下の通り、文章を2つに分けます。 ●消防団員の定年を延長することで団員数の維持を図ります。減少に歯止めをかけ、また、入団促進を図るために、消防車の運転に必要な準中型自動車免許の取得に補助金を交付するなど、さまざまな方法で団員の確保に努めます。 ⑤各施設は本来の使用目的のために環境に配慮しつつ整備するのであって、避難所としての使用を前提として整備するものではないこと、避難施設という表現が馴染まないことから削除したものであることから、修正は行いません。
9	5. 市民生活分野	6. 市民サービスの向上	①現況と課題 ②めざす姿	内田委員	①「新型コロナウイルス感染症により日曜開庁が利用されなくなった」とあるが、つながりが分からない。また、市民の声にある休日開庁を求める声について、答えはあるか。 ②「効率化」が「デジタル化」に置き換わったが、効率化を削除して良いのか。	①休日開庁については、現時点では検討していません。新型コロナウイルス感染症による影響については、日曜開庁ではなく、窓口全体の利用者数について記載したのですが、表現は検討したいと思います。 ②すべてがデジタル化になるわけではないため、表現は修正したいと思います。	①以下の通り、修正します。 ●窓口サービスについては、社会経済情勢の変化や市民のライフスタイルの多様化に対応し、日曜開庁により住民票の写しや、戸籍謄抄本、印鑑証明書、パスポートの交付などを行っています。が、新型コロナウイルス感染症の影響により近年は利用者の増加がみられない状況です。そのほか、電話予約による住民票の写し、印鑑証明書、税務証明書の休日交付や、郵送請求による各種証明書の交付、証明書コンビニ交付サービスも行っており、今後も市民サービス向上のため、窓口業務のあり方やICTの活用などについて、費用対効果も勘案しつつ市民のニーズに対応していく必要があります。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、近年は窓口利用者の増加は見られない状況です。 ②以下の通り、修正します。 市民サービスのデジタル化等の推進により効率化を図り、市民が快適なサービスを受けることができます。

第4回 総合振興計画審議会意見対応（政策連携プラン）

No.	項目名	発言者	内容	当日の回答	対応
1	2. 本庄版ネウボラプラン	野津委員	・地域における安全安心の子育て環境の整備協働の例示として、子育て支援グループやNPO法人を記載するのであれば、関連する施策大項目として「5-1市民との協働によるまちづくりの推進」を入れるべきではないか。	確認します。	子育て支援グループやNPO法人、ボランティア団体等との協働について記載していますが、これは「1-1子ども・子育て支援」における取組の例示として記載しているものです。このため、ここでは関連する施策大項目として「5-1市民との協働によるまちづくりの推進」を記載していません。
2	1. 埴保己一プラン	内田委員	群書類従などに「」を付けるのであれば、統一した方が良いのではないかと。また、「文学・歴史等を…」とあるが、別物ではないか。	確認します。	ご指摘の通り、群書類従、和学講談所などの固有名詞に「」を付し、統一した表現とします。 また、「群書類従」は、伝記、和歌、軍記など、日本の文学や歴史にかかわる様々な資料が収蔵されていることから、このような表現としているものです。また、市観光協会ホームページにおいても同様の表現を用いています。 (出典：埴保己一資料館「群書類従の編纂と版木の変遷」、大谷大学講師 川端泰幸「発見と発想の泉」)
3	①2. 本庄版ネウボラプラン ②4. 本庄ブランド発信プラン	内田委員	①・地域資源を活かした学びの機会の充実 「地域の産業」を入れるのであれば、経済環境分野が含まれても良いのではないかと。 ②・魅力発信と移住・定住促進 「道の駅」については、何も決まっていない状況であり、環境、防災、創エネなど、様々な可能性を考えるべきではないかと。	各プラン内への大項目の取り入れ方は検討したいと思います。	①教育文化分野に記載している「キャリアに関する学習や各教科の学習等を通して、勤労観や職業観を育てます。」を想定し記載したのですが、ご意見を踏まえ、「3-1農業の振興」を追加します。 ②ご指摘の通り、「道の駅」については、現時点では何も決まっていない状況です。このため、現時点で想定する施策大項目を記載しています。今後、具体的な検討が進む中で、様々な分野での施策が決定していくものと考えています。